



# はつらつ 通信



Vol. 141  
2017.3.1

●発行 医療法人北志会 札幌ライラック病院

●編集 はつらつ通信局

## 医療安全管理室

### 医療の安全管理に専従職員

人工呼吸器装着の患者さまの受け入れに続き、一昨年には長期入院を希望される人工透析の患者さまの受け入れも開始した札幌ライラック病院。看護やケア、医療機器の取り扱いが命に直結する患者さまが増加したことを背景に、当院では一昨年5月に医療安全管理室を立ち上げています。

医療安全管理室は、外来の患者さまやご家族の方が訪れやすい当院エントランスに入ってすぐの右側にあります。医療安全管理者資格を持つ看護師、加藤明子主任がそこに机を置き、専従で業務にあたっています。今号では、この医療安全管理室を紹介します。

### リスクを拡大させない取り組み

医療安全管理室の役割はリスクマネジメントです。日常のちょっとした出来事〈インシデント〉を、重大な事故〈アクシデント〉にしないための取り組みといえます。そのためには〈ヒヤリ〉〈ハット〉とも呼ばれるインシデントの報告と共有を全職員で行う必要があります。

「エラーした人を責めるのではなく、エラーの理由を探り、エラーが発生する原因を取り除くことが大切なんです」と加藤主任。もっと頑張れば、もっと気をつければ防げるといった属人的な方法ではない対応策を検討し、大きな事故を未然に防ぐためにも、インシデントレポートの積み上げは重要と強調します。(2面に続く)



医療安全管理室の加藤明子主任



# 医療安全管理室が守る患者さまと職員の安全 地道なチェックで医療に安心感

ライラック・フォト歳時記

## 好評受けて、今年も開催

1月11日～31日

多数の力作が集まった小中学生作品展

一昨年に当院の待合ロビー・ホールで開催した「小中学生作品展」。絵画や書道などでさまざまな賞を受賞した子どもたちの作品が、院内外的话题を集めました。その好評を受けてこの冬に第2回を開催。1月11日(水)から31日(火)まで3週間の会期中、多くの方々が力作の前に足を止めじっくりと見入っていました。

「作者がお孫さんと同じ学校だったり、近い歳だったりすることもあって、より親近感を持って見てくださるようです」と地域連携部の高田麻実主任。外来の患者さまやお見舞いにみえるご家族の方と職員の会話にも展示作品がたびたび登場し、話題づくりにも一役買っているようです。「新しい恒例行事として定着してもらえると嬉しいです」と高田主任は話します。

おなじみ「びょういんあーとぷろじえくと」の次回開催まではまだ間がありますが、4月頃にアーティストの皆さんがレギュラーで春らしい作品展示を計画中とのこと。ご期待ください。



▲豊平・清田区の奨励賞  
「八こう学えんの牛」  
あやめ野小学校2年生の作品



## 新しい外来師長が着任 地域に密着した看護を

空席だった外来師長に、この2月から若杉ひろ子師長が着任しました。関連病院である宮の森記念病院の看護部長だったこともあって当院とのつながりは深く、透析室の開設時には非常勤としてサポート。そのため、着任から数カ月でも当院内に知人は多く「看護部長とも長年の知り合い。院内に顔見知りが多いですね」と若杉師長は笑います。

「外来のスタッフはみんな明るくて、患者さまお一人おひとりをご家族のことも含めてきちんと把握している点に感心しました」と当院外来を評価。「ちょっとした風邪でも高齢者には大きな病につながりかねない。気兼ねなしに受診していただけて、地域に密着した看護のできる外来にしていきたいですね」と抱負を語りました。



外来の若杉ひろ子師長

長崎県出身。高等看護学校卒業後、医療機関で経験を積み、20年以上透析看護に携わり、師長や看護部長も務める。有料老人ホームを経て、今年2月1日に当院外来師長に着任。

**積極的な働きかけで安全への意識向上**

年に一度、関連病院の医療安全管理担当者が集まって行われている会議では、どの病院でもまだまだインシデントのレポートを出すことに抵抗

感が強いと報告されています。「小さなことでも病院全体の問題として捉えてもらえよう働きかけを今後はしていきたいですね」と加藤主任。ほかにも、医療安全に関する情報の院内伝達や、各部門のカンファレンスでのアドバイスなど日々

幅広い業務をこなし、医療の安全を守っています。地域の皆さんもお気づきの点があれば、地域連携室までご相談ください。ご意見箱への投書でも承ります。



院内を回って確認項目をチェック

また、点滴の破損が起きた事例では、点滴の取扱方法について、業者の担当者を講師役に招いてデモンストレーションを行い、正しい取扱方法を改めて看護部全員で確認しました。また、ラウンドと呼ばれる院内巡回で、院内の設備に異状がないか

**報告をもとに対策検討 同じエラーは繰り返し返さない**

月平均60ほど上がるインシデントレポートは、加藤主任のほか、看護部長、医療安全管理委員会の医師、事務長、院長、理事長が共有し、必要に応じ対策を検討します。

例えば、薬局で調剤された点滴のアンブルが足りないことに病棟の看護師が気づき、調剤し直してもらったというインシデント。病棟でのダブル



業者の担当者を講師役に招いて点滴の取扱方法についてデモンストレーション



インシデントなどのデータを管理



を確認するのも加藤主任の役割。デジカメとリストを持ち、院内を隅々までチェック。気になる点があれば、その部門の職員とともに解決策を検討します。

## 医療法人北志会

### 基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

### 基本方針

- 患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 職員は、責任と誇りを持ち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

## 札幌ライラック病院を受診される皆様にご協力いただきたいこと

- 心身の健康に関する情報について担当者にお伝えください。
- 医療者の説明が不十分な時には、十分理解できるまで質問してください。
- 治療やケアの方針を決める時には、ご遠慮なく医療者と話し合ってください。
- 医療者と共につくった治療やケアの計画に積極的に参加してください。
- 院内では常識的な社会人として行動して下さるようお願いいたします。
- 札幌ライラック病院は全館禁煙です。ご理解とご協力をお願いいたします。
- 札幌ライラック病院では、各階に意見箱を設置しています。ご意見やご希望がありましたら、ご遠慮なくご利用ください。



# 専門職による院内症例研究発表会を開催 実践の優れた発表に奨励賞

## 医療の質向上を目指し 今年は4部門が発表

専門知識や技術が日々更新されていく医療・介護の世界。現場で働く専門職にはたゆまぬ研鑽が求められます。当院では職員研修の一環として、年に1度、院内症例研究発表会を開き、各部門が取り組むテーマについて発表しています。



今年度は2月14日(火)午後5時30分から2階リハ室にて開催。4病棟、外来、臨床工学科、NST

(栄養サポートチーム)を代表して栄養科の4部門が発表を行いました。今年から最も優れた発表者を表彰する奨励賞が新設され、栄えある初回受賞者には「申し送り廃止への取り組み」を発表した4病棟が選ばれました。

## 院内全体で共有した 優れた取り組みと成果

4階病棟担当の看護師で構成される4病棟の発表チームは、より良いケアを提供するために申し送りを廃止し、その結果どのような変化があったのかを報告しまし



た。申し送りとは、看護師が交代する際に後任者に口頭で患者さまの現状などを伝える引き継ぎ業務のことで、毎日一定の時間を割いて行っています。

療養型病棟の看護師配置である4病棟では、その時間をケアに充てより良い看護を実現するために申し送りを廃止し、書面で確実に情報共有する方式に変更。その結果、伝達ミスが減り、後任者には自ら文書記録にあたって情報を得ようとする能動的な姿勢が生まれました、変化の様子を発表しました。

さまざまな専門職が働く医療機関の各部門では取り組む課題も多岐にわたります。毎年の院内症例研究発表会は、各部門の多様な問題意識を職員全体で共有し、二丸で医療の質の向上を目指す好機となっています。



札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけではなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

内科、消化器内科、整形外科、神経内科、内視鏡内科、糖尿病・代謝内科、麻酔科、リハビリテーション科

### 診療時間

平日 9:00~12:30 13:30~17:00

土曜 9:00~12:00 午後休診

※但し急患の方は上記に限らず随時受付いたします。

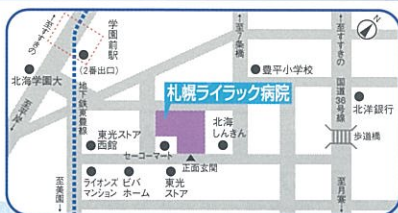
### 面会時間

平日 14:00~20:00

土日祝 12:00~20:00

### ホームページ

<http://www.lilac.or.jp/>



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号  
TEL(011)812-8822

## デイケアの ボランティアさん 募集中!

こんな活動をしてみませんか?

- ①お茶出しや食事の配膳の手伝い、お話し相手
- ②書道や絵手紙など趣味活動の講師役、特技の発表

活動時間 ①9:30~12:30 ②14:00~15:00

お問い合わせはデイケア・中田まで